

her／世界でひとつの彼女（2013）

HER

メディア 映画

ジャンル ロマン ス F コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 126分

初公開日 2014/06/28

公開情報 アスミック・エース

映倫 PG12

【キャッチコピー】

人生にときめく、AI（人工知能）。
声だけの君と出会って、世界が輝いた。

【解説】

「マルコヴィッチの穴」「かいじゅうたちのいるところ」のスパイク・ジョーンズ監督が「ザ・マスター」のホアキン・フェニックスを主演に迎えて贈る異色ラブ・ストーリー。コンピュータがさらなる進化を遂げた近未来を舞台に、傷心の作家が女性の人格を有した人工知能（AI）型オペレーティング・システム（OS）と心を通わせ、本気で恋に落ちていく切なくも愛おしい姿を描く。共演はエイミー・アダムス、ルーニー・マーラ、オリヴィア・ワイルド。そして主人公が恋に落ちるAI“サマンサ”の声を務めたスカーレット・ヨハンソンは、ローマ国際映画祭において、声だけの出演で史上初となる最優秀女優賞に輝いた。

そう遠くない未来のロサンゼルス。他人に代わってその相手への想いを手紙に綴る“代筆ライター”のセオドア。仕事は順調だったが、その一方で離婚調停中の妻キャサリンとの思い出を、別れて1年経った今も断ち切れないでいた。そんなある日、最新式のAI型OS“OS1”の広告を目にしたセオドアはさっそく自宅のPCに取り込むことに。すると起動した画面の奥から聞こえたのは、“サマンサ”と名乗る女性の声。それは無機質で事務的なAIとは思えないほどユーモラスかつセクシーで、バイタリティーに満ち溢れる人間のような音だった。サマンサをすぐに気に入ったセオドアは携帯端末にも彼女をインストール。こうして常に一緒にふたりは新鮮で刺激的な日々を過ごし、いつしか恋に落ちていく。そしてついに、セオドアはキャサリンとの離婚届に判を押そうと決意。しかし、再会した彼女の前でAIとの交際を打ち明けたことをきっかけに、セオドアとサマンサそれぞれの想いがすれ違い、ふたりの関係に異変が生じていく…。

【クレジット】

監督	スパイク・ジョーンズ	Spike Jonze
製作	ミーガン・エリソン	Megan Ellison
	スパイク・ジョーンズ	Spike Jonze
	ヴィンセント・ランディ	Vincent Landay
製作総指揮	ダニエル・ルピ	Daniel Lupi
	ナタリー・ファーリー	Natalie Farrey
	チェルシー・バーナード	Chelsea Barnard
脚本	スパイク・ジョーンズ	Spike Jonze
撮影	ホイテ・ヴァン・ホイテマ	Hoyte Van Hoytema
美術	K・K・バレット	K.K. Barrett

プロダクションデザイン	K・K・バレット	K.K. Barrett	
衣装デザイン	ケイシー・ストーム	Casey Storm	
編集	エリック・ザンブランネン	Eric Zumbrunnen	
	ジェフ・ブキャナン	Jeff Buchanan	
音楽	アーケイド・ファイア	Arcade Fire	
主題歌	カレン・O	Karen O	『The Moon Song』
舞台装置	ジーン・サーデナ	Gene Serdena	
追加音楽	オーウェン・パレット	Owen Pallett	
出演	ホアキン・フェニックス	Joaquin Phoenix	セオドア・トゥオ ンブリー
	エイミー・アダムス	Amy Adams	エイミー
	ルーニー・マーラ	Rooney Mara	キャサリン
	オリヴィア・ワイルド	Olivia Wilde	デートの相手
	クリス・プラット	Chris Pratt	ポール
	マット・レッシャー	Matt Letscher	チャールズ
	ポーシャ・ダブルデイ	Portia Doubleday	イザベラ
声の出演	スカーレット・ヨハンソン	Scarlett Johansson	サマンサ
	ビル・ヘイダー	Bill Hader	
	クリステン・ウィグ	Kristen Wiig	
	スパイク・ジョーンズ	Spike Jonze	
	ブライアン・コックス	Brian Cox	